

Q12

自立活動の評価はどのようにするとよいですか？

A12

実際の指導が個々の児童生徒の指導目標（ねらい）に照らして**どのように行われ**、児童生徒がその指導目標（ねらい）の実現に向けて**どのように変容しているか**を明らかにすることが大切です。

詳しくはこちら



○ 達成状況を具体的に捉える

指導の結果や児童生徒の学習状況の評価を行う際には、**指導目標を設定する段階で、児童生徒の実態に即した達成状況を捉えるための観点を具体的にすることが重要です。**

例えば、「どの場面で、何を、どのような方法で理解できるようにするか。」ということを明らかにしておくことなどです。

○ 指導と評価は一体

評価は児童生徒の学習評価であるとともに、教師の指導に対する評価でもあることから、児童生徒が目標達成に近づいているかなど、**児童生徒の学習状況**を評価し、**指導の改善に日頃から取り組むことが重要です。**また、児童生徒の学習状況や指導の結果に基づいて、自立活動の指導の計画について、適宜修正を図る必要があります。

自立活動の時間においても、学習前、学習中、学習後などに、児童生徒の実態に応じて、**自己評価を取り入れることが大切です。**



自己評価の工夫例



指導の前と後の様子を動画で撮影し、本人が確認できるようにすることなどにより、自己や他者の変化に気付き、よりふさわしい対応の方法等を考えるなどの指導につなげられます。

